

中齋塾 東京フォーラム  
平成 29 年度 第 3 回講話

平成 29 年 4 月 8 日  
於 湯島聖堂

10 周年記念式典には、色々とお手伝いをいただきまして有難うございました。猪瀬理事長はお疲れのようで氣力・体力をずっと使っていると、やっぱり人間ですね。先ほど電話をいただいて「起きると目が回る」と。ご飯を食べないと衰弱しますから「ご飯を食べましたか」と聞きましたら、食欲があるのでそれは大丈夫だということで、そのうち良くなるという気がします。休むのはそう長くはないだろうと思います。

目の前にチラシがあるから先に渡します。家内が中谷さんと話をして時間があつたらお邪魔するというような話をしたら、すぐパンフレットを送っていただきました。中谷さんは色々ちょっと変わったことをされるという記憶があつて、前も映画を見に行った記憶があります。それからお風呂場に富士山の絵ではないけど…何でしたっけ？

中谷会員一はい、公衆浴場背景画普及会の絵を差し上げました。

有難うございます。それで今、自分の動きを色々絡めてみて思ったことは、この間、東小金井にある江戸東京たてももの園に行きました。江戸東京たてももの園に、高橋是清が襲われて暗殺された家が移築されています。そこの高橋是清邸を見ていたら、今井さんを思い出しました。北関東フォーラムの会員で会計担当理事になった今井さんです。

今、私にすると第三段の動きをしています。中齋塾フォーラムの中で『重職心得箇条』を学ぶために、ある程度の方にお集まりいただいて勉強会をしていました。それから唯識学を勉強するために、人を選んでお集まりいただいた。三番目は個々に宿題を出すというスタイルを取りました。それで今井さんに高橋是清に関する物はどんどん勉強してください。何か折があつたら前に出て話してくださいということで、今井さんの顔を見るたびに高橋是清の本を渡しています。この間、本を渡そうと思ったら、今しっかり読んでいますから、ちょっと勘弁してくださいとのことでした。

群馬銀行の頭取と話をした時に「中齋塾フォーラムの方は十分承知です。よくわかっております」と言います。「なぜ知っているのですか」と聞いたら、今井さんからよく聞いておりますとのことでした。確かに金融関係に今井さんは強いなと思っていましたけれど、ここまで浸透しているかと思いましたので、だったら高橋是清は今井さんが滔々とお話

をすべきだと思い、今までは高橋是清について色々な人が書いた物、小説だったり評論だったり渡していましたが、今度は本人が書いた自叙伝を渡そうとしたら、ちょっと勘弁してくださいといわれました。この次、今井さんの顔を見たら、東小金井にある高橋是清邸に行ってみたらということに繋がっていきます。

江戸東京たてもの園の中に、公衆浴場が移築されていて、確か入場料が15円と書いてあったと思いましたが、こんなに安かったのかと感じました。

一つものを見たら繋がって、あれもこれも考える。そのあちこちの物を見て歩くと頭の中が活性化するでしょう。一番良いのは誰か人物と繋げてみると色々な知識が繋がってくる。繋がらうというふうに頭を使うとよい。ということで中谷さんの動きはすごいなと思ってみたら、チラシにこんなことが書いてありました。三遊亭究斗講演会副会長・中谷と書いてあるけれども、中谷さんが動くのは、ご自分の意志で色々探しているのか、それともご主人が何か色々やっていて、それを応援しているのかどっちかなと思って、今日はそれを聞こうと思いました。

中谷会員一私の趣味から勝手に動いているところから、色々なものがくっついてきました。ちょっと最近やりすぎて、いい加減に下さいと…

じゃあ、奥さんが好き勝手に動いていて、ご主人がフォローしている感じかな。でも、色々思い、感じたら行動すると良いと思います。行動すると何か繋がりができます。ということで最初に中谷さんのお話をしました。

## 【テーマ】

### <知識・見識・胆識→洞察力→予測学>

先月の記念式典の反省をしていましたら、これからの10年ということについて物足りないというお話がありました。そこらへんをいくつか申し上げようと思って、今日は参りました。

これからの10年と考えるときにキーワードが3つあります。個というのは個人。自分のことをベースに物を考えていく個人の立場。個人の立場でいえば自分とせいぜい広げて家族や身内、そこらへんの個。それから組織は、自分が所属している会社であれば会社。公共機関でいえば難しいから企業体であれば組織という考え方。それから自分が生きている時代の流れ、潮流。この3つで見ていくと良いと私は思っております。

そうすると今回のテーマで「知識・見識・胆識→洞察力そして予測学」と書かせていただきましたけれども、知識は先ほど申し上げましたとおり、色々なものを見たり聞いたり

して、それに行動がプラスすると知識と知識が繋がってきて融合し、一気に知恵まではいかないけれども、少なくとも相当大きなエネルギーになってくる。ですから知識がなければ手は打てない。でき得る限り、見たり聞いたり、そして考えたりという働きが必要です。これは行動というものがベースになると思っています。

今日は池田さんの距離がちょうど良いね、見やすい。あなたがお仕事する時に、段々経験を積んでくると、相手の顔を見ただけで何となく見当がつくでしょう。一言二言相談事を言ったら、ない物ねだりしているとか、この人は少し応援してあげたいとか、自分の心が少し動くと思いますが、それは経験を積んで知識をたくさん蓄えると判断力が磨かれてくるからです。判断力が磨かれてきた時に、こうすれば良い、こうすべきであると、それは見識に変わっていきます。

### 【紹介書籍】

『国のつくり方ー明治維新人物学』 渡部昇一・岡崎久彦著 致知出版社

それで今日お話しする『国のつくり方』という本の中に西郷隆盛と勝海舟のことが書いてあります。見識がある人ということで、この二人の対談の中で見識についての考え方をだしています。

自分が困った時、これは誰かに相談に行くべきだと思ったとき、周りに相談すべき相手が浮かんできたら、それは良い知人を持っているということになる。友達だったら、良い友達をもっているということになる。見識の程度にもよりますが、大きな出来事に対しての処方箋が出せる人は、見識のある人という言い方になります。その手前だと頼れる人ということになる。できる限り頼れる人をもっていることであり、自分も頼られる人という人間関係になれば一番良いと思います。

・ちょっとお聞きします。何か困った時に、あの人を頼っていけばなんとかなるとか、相談できる人いますか？では、頼られる人に自分はなっているなど自覚をお持ちの方？

有難うございます。自分だけ頼られる人になっっていると思っっていて全然相談されない場合もあるから、そこらへんはちょっと考えたほうが良いだろうけれども、ちょっと心が荒んできた時、頼られているなと思うことは、世の中の役に立っていることだから、とても良い心の作用に繋がっている。そういうことが混ざってきて最終的に個々の関係ではなく、全体から頼られると見識がある人と思われていると考えてよい。知識から見識になり胆識になりますが、胆識と胆力のある人、実行力のある人です。

お返しをしている本の中で勝海舟と西郷隆盛の江戸城明け渡しの時に、どちらも暗殺されることを腹において、江戸城明け渡しの談判をしたと書いています。そうってみると

胆識とは自分でやろうと決めたら誰が反対してもやる。たいがい最初は自分が良いと思うことは周りが反対するケースが多い。周りが最初から賛成することをやるのはもう手遅れになっている場合がある。身近な人は、そんなことまでしなくたってと思う。遠くから見ている人は、良いことだからおやりなさいと言う。巻き込まれて被害をこうむりそうな人は反対するケースが多い。巻き込まれないで高みの見物で批評だけをしていればいい人は良いことだからおやりなさいという。でもいずれにしても渦をつくっていますね。渦をつくるのは、とても精神衛生上よいと思う。

この間、健康医療開発機構の集いで、経済産業省の課長の科白が面白くて、その中でも気に入ったものが、人間は70代に入ったら、今までのデータでは女性は緩やかに体力が落ちていく。男性は70歳から75、80、85とつるべ落としに体力が落ちるということでしたが、最近では新種が出ましたと言います。新種は「中小企業会長型」と名付けました。中小企業会長というのは世のため・人のためになっていると自分が勝手に思っている人。老害になっていてもそんなことは気にしない。世のため人のためになっていると自分で思っていれば精神衛生上よいわけです。そういう人は健康にも気をつかいます。世のため人のためを実行するには、自分が健康でなければいけない。

私、ぎっくり腰にならないためにサラシを巻いています。サラシを巻く前はちょこちょこぎっくり腰を起こしていましたが、このサラシを巻いて20数年経ちますが、サラシを巻きだしてから一度も起きてない。

難波会員一先生、サラシに頼ると筋肉が弱くなると聞きます。

普段はサラシを巻いていますけれど、筋肉強化をする時はサラシを外します。私は筋肉を強化するのに70歳になってやり方を変えました。69歳までやっていたスクワット500回。腹筋500回。腕立て500回と、だいたい500回にしていました。それである日、ふと突然に500回やっていたら、その倍はできるはずだという持論があるので、どこまでいかやってみようと思い、スクワットをやってみたら1000回いきました。でもやっぱり体にはよくない。歪がでる。だからやり方を変えて健康開発機構で知り合った人にアドバイスをもらい、少し落として300回に変えました。ということで常時、筋肉は鍛えるようにしています。筋肉は鍛えれば鍛えるほど向上するようです。それは実感しています。1年間続けてみてそう思いました。健康を維持する場合は、自分なりのやり方でやっていけば何とかなると思いますので、ぎっくり腰にならないように努力をすれば、たぶんならないと思います。

老害だといわれながらも世のため人のためになっていると自覚がある人は、できるだけ長い間、健康であればと考えていくと70代から死ぬまで横一線していく。70歳を過ぎた方は、世のため人のためになると自分で信じて身体を鍛えることです。

## 個人と組織

胆識は実行力だと思えばいいです。知識は色々なことに出あって自分の引き出しをたくさん作ること。見識はたくさん引き出しを作れば、この時はこうすべきだということがスーと出てくる。身近なものであれば、転ばないためにはどうすべきか。司会をする時にはこうすべきだとか。こういうものをたくさん積み重ねていくことによって、人に物を教える力がつく。判断力がつく。見識はそこらへんから生まれてくる。そして実行力はいくつもの実行を積み重ねていけば、知らず知らずの間に胆識が身についていく。そこらへんまでくると洞察力、人の心の中を慮れる。

洞察力が身につけば、猪瀬さんが今日は来られないということが少し分かったかもしれない。最近、猪瀬さんの顔つきを見て弱氣だと言いました。マイナスがいっぱいあっても前向きのことを一生懸命に考えてやっていたら、たいがい後ろ向きなことは終わるので、マイナスをプラスにする話を会うとしていました。でも心に届かなかったとみえて休んでしまった。どこかで休むべき人は休まなければいけないと思いますが…洞察力はその人の心のひだが見えてくる。

人間、個の場合は見えてくる。組織の場合もどこかで歪（ひずみ）が見えてくる。組織が歪んでくると、どこかでほころびが出てくる。そうするとこの組織は終わり。それを国の単位でみていけば、この国は…となります。

時代の流れを、潮流を読み取っていないと、その国の運命や流れが見えてこないで、時代の潮流をやはり見る必要がある。

10周年記念式典の懇親会の時に、100年経営研究機構の人とお喋りをして、日本の場合は、千年続いた場合は、百年はこういう考え方と話をちょっとしました。でもベースとなるものは時代の流れ、時代の空気、時代の雰囲気、それはどうやって生ずるのか。時代の潮目を見る力を身につけないと百年企業というのは、なかなか進まないじゃないですかねという類の話をいたしました。そこらへんから、これからの10年の中で時代の流れ、潮目で見るとやっぱりオリンピックが大きな区切り・節目になります。

安倍さんが落ちなければオリンピックまでは惰性で流れていく。アベノミクス良くはならない。じわじわと悪くなる。でも惰性で進んでいきますから極端に変わりはない。オリンピックが終わったところで、一気に景気は悪化するでしょうし、それぞれの国との問題も表面化してくるだろうと思います。ただ時代の流れですから10年や20年の範囲でいろいろ動きます。

国の単位の物の見方を申し上げると、国家として眺めたときの知識は何かといえば、日本は安倍ファーストでいっている。小池都知事は都民ファーストという感覚ではなく、小池ファーストです。アメリカの場合もアメリカファーストではなくトランプファーストでやっている。それぞれ権力を握った人が自分と自分に関係する人達を損得で先にもってきている状況になっています。EUでも同じです。離脱した人達だって自分達のもの、我が身大切という動きに見えます。中国の習近平さんの動き方にしたって、中華思想でやってい

ます。大中華思想だから他の国は全部野蛮人の国と規定したものが、ずっとその民族の中にしっかりこびり付いています。根付いているというのかな。だから中国だけが偉大な国で、周辺の朝貢する国々は良い国で、他は全て野蛮国。アメリカは野蛮な国が力をつけているように見えるだけという扱いでしょう。でも国民に対しては相当氣をつかってペテンを続けています。そんな感じで知識をみる。

知識のもとに国家としての対処はどうすべきかと考えれば、そういうグローバリズムから保護主義に各国が変わってきている状況の中で日本はどうすべきか。そういうふうな安倍さんは考える立場にあるわけです。でも、していることが自分の父親や祖父を乗り越えようという感覚のほうが、どうも目についてしかたがない。今、歴史に名前を留めようという意欲はかなり強烈になってきたと思いますが、国家を滅ぼすまでは思っていないけれども、独立した国家としてやっていくということはとても稀薄に感じています。

時代の流れの中で、前から話していますけれども、ひとつの国が消滅したり、また新たに国が興るということは十分あり得る。日本という国が無くなるという考えも視野に入れて良いと思います。

私は時代の流れから見た場合、日本という国が無くなる可能性はあると今は思っています。第三次世界大戦は始まると思っています。第二次世界大戦が終わった時に、国が分断されて別の新しい国が発生したり、消滅したりという状況でした。それから物の考え方が根底から変えさせられてしまった国々。今、そういう国が世界大戦の後に生じている事実と照らし合わせて、尚且つ中国の膨張主義を考えれば、色々あり得る状況が見えてきます。

以前に『最終目標は天皇の処刑』という本をご紹介します。チベットという独立国家がどういう経緯で、どういう手順を踏んで中国に呑みこまれていったかが体験談で書かれている本です。私はこれを読んだ時に著者のペマ・ギャルポさんに会いたいと思い、つてをたどってお会いしました。本物だったという実感があります。

中国は日本と比べて極端に違うことが、ひとつあります。両国とも何千年の歴史という言葉いかたをしますけれども、本の中にはこういう書き方をしています。王朝という言葉いかたでいけば、日本は天皇という存在がある天皇制です。日本の王朝はひとつしかなかった。現在にも続いている世界でもただ一つの国。中国は歴史はあるかもしれないが、中国王朝は常に交代をしていた。易姓革命でかわってきた。易姓革命とは徳がなくなったと天が見切りをつけたときに革命が起きるということで、ころころと交代します。日本も南北朝時代があったことは記憶に残しておいたほうが良いと思います。

中国は建国七十年とお祝いしたけれども少しペテンでやりましたね。ということで、国ができて百年未満の膨張主義の国家が、周辺の国々を呑みこもうとしていると考えると、中国と北朝鮮と韓国、向こうにアメリカがいて日本。いつ日本が属国、植民地、または吸収されるかという、今、際どいところを歩いている。そういう実感が出てくると思います。

・北朝鮮から日本にミサイルが飛んできて、たくさんの人がそれで死ぬという危険性を

感じている方どれぐらいおられますか？

10周年記念式典の感想文を若い人たちに書いてもらいました。25歳の人の感想文で、ひとつの講演会の中で国家を考えると、時代を考えると、とても大きな話をする。その中に個人レベルの話が入るのは違和感がありましたと冒頭に書いてあって、ずっと違和感があるのかなと思い読んでいくと、最後のほうに、違和感があったけれど最後は違和感がなくなりました。何故かなと思ったら、自分の実家は佐世保ですと書いてあった。佐世保には北朝鮮からミサイルが飛んできて落ちる可能性がある。今狙われている所が佐世保と岩国とグアムと発表されていますが、もっと近い所に飛んでくる危険性が当然ある。だから個人個人のものと、国レベルのものは今、直結をしているという実感が湧きましたということです。

ここにいる方々は経験や知識をたくさん積んでおられるから、若い人の感覚がピンとこない場合が多いと思いますが、私たちがこれは常識じゃないか、こんなことは分かりきっていることだと思っていても知らないのが普通のような感じです。…15年ぐらい前の話ですが、電車の中で学生らしき若い人たちが話していて、一昔前に日本はアメリカと戦争をしたことがある。で、どっちが勝ったのか。今の日本の繁栄状況を見れば日本が勝って、アメリカが負けたんじゃないと紹介したものがありません。最近はそのほうがもっと酷いですね。

我々が知っている常識は、今の若い世代には伝わっていないと感じます。改めて時代の見方、国家のあり方、国家を構成する三つの条件。国民がいること・領土があること・国を代表する政府・行政機関があること。尚且つ、その国が他の国から認められることが必要だという話も時々若い人にはしなければいけないなと思っています。

今日の知識・見識・胆識・洞察力そして予測学。予測学で木内信胤先生が亡くなる前に予測学をこれから作ろうかねと言われた。あまり細かいものをいうのではなく、大きな流れだけです。

大きな流れで、いくつか申し上げた中でおさらいをすると、日本という国がずっとあり続けることはあり得ない。そう認識を持つべきです。いつ消滅するか分からない時代に入ってきたということが一つ。

二つ目は、世界各国の保護主義に転じたグローバルは終わり。通貨の仕組み、役割はもう終焉を迎えた。これを銀行の頭取さんと話をすると「そうですね」と言いますが、以前は金融機関がそんなことは一顧だにしなかった。最近話に乗ってきます。ただこの間、ある銀行の頭取とお喋りした時に、通貨は無くなるかもしれないけれども、単位は残りますねと話しました。目に見える物が無くなっても、お金という概念でいう大きな単位と小さい単位は残るのではないかということです。そこらへんの会話は一致しましたが、そこから先の掘り下げはできなかった。相手もそこから先までは考えてはいない。まだ混沌としていますので通貨がどうなっていくのかということは、今後の課題であると思います。

今、日本が消滅するかもしれないということだけでいうと、前から申し上げている自給自足をしなければいけないということだけは明確です。自分で食べる物は自分で用意しましょう。去年は農業法人をつくったと言いましたが、少しずつ今進んでいます。今度は電気、水道、ガスが当然ストップするであろうという前提で、ストップした場合にどれぐらいの人が食べていけるか分かりませんが、そのための対応を始めました。それから水の被害。私が住んでいる場所は大きな川が近くにありまして、歴史から見ると、その川は氾濫をしたことがあるので古い家の二階には舟が置いてあった。今は舟など残ってないから言い伝えですね。でもあり得る話です。

ちなみに有楽町の交差点でよくイベントやりますね。新聞やテレビで流していましたが、ご覧になった方、見に行った方がいるかもしれませんが、ソニービルの壁に巨大な垂れ幕が設置され、赤い横線が引いてあり、ここまで津波が来たと示されていました。それは岩手県大船渡市を襲った 16.7 メートルの津波の高さです。私も見に行きました。新聞ではビルの下の方に人間が写っている。

それで今、原子力発電所を復活させるとありますが、東日本大震災級の津波がきたら水没します。歴史を紐解いても、想定外の津波がきたら、防波堤をつくっても水没してしまうという状況です。

ソニービルでこんなイベントをやっていたと気がついた方いらっしゃいます。または見に行った方？—西谷さんおひとり。

ということで、おやっと思う情報が入った時には見に行く。そうすると新聞やテレビを見ただけの人の反応と、実際そこへ行って見ると動きが変わってくる。知識の深まり方が違う。

何か情報、知識が入ってきた時には、行動に結びつけるように今年はしていただければと思っています。

行動がすごく大きい。中谷さんの話だって落語を聞きに行くのではなく、中谷さんが勧めたから行ってみようかという話で、それで駄目だったら何だこれとは思えば良いし、面白かったらこれはすごいと思えばいいわけです。

今日は知識・見識・胆識・洞察力を身につけて予測学へという流れの解説をあちこちだしました。今お話をした場合の個人としても条件がありますので、ベースは学びたいと意欲を持っている人は、その個としての条件に合致する。鼻で笑っている人は駄目。学びたいという意欲がある人は良い。ただ何事にも金で置き換える人は駄目。なんぼこれで稼げますかと言ったら、よそへ行ってくださいという話になる。

組織としては哲学があること。それから判断の三原則を知らず知らずの間に、その組織は覚えるという環境、空気感があること。

中斎塾フォーラムの今後は、情報を集約して発信・提言し、行動をする集団。私はそういう集団に進めていきたいと思っています。情報の発信・提言・行動。何かそういうこと

を考えているとわくわくしてきます。

### 【恒例の質問】

・今年に入って良い日が比較的続いていたなと思う方がいかなうでしょう。

・今年に入って、嘘をつくわけがないじゃないかという方。

やはり、おられますね。

・比較的、嘘はついてないよなという自己弁護の方。

もう一回聞きましょうか。私の人生は嘘ばかり。あっちで嘘、こっちで嘘、何を喋っているのかももう分からないという人は結構います。人生を振り返ってみると嘘のつき通しだなという人。

さすがにいませんね。有難うございます。

・最近、有難うと言われることで、この人の有難うは心がこもっているなと、心のこもった有難うを言われた方。

私は意識して名前を書きとめるようにしています。眠る時に、有難うと言われたかを頭の中でチェックしますが、今日は心に残る有難うを言ってくれた人は誰かなとメモするようになりました。ナンバーワンの人だけ。どうしても同じぐらいだと思ったら二人分の名前を書きますけれども、自分が気がつくつかないかだけで、心のこもった有難うということは意外とあります。

今、私が意識して別けていることが、心のこもった有難うと言う人。この人に有難うと言ってもらったら心が穏やかになった。何かほっとした。ほっとしたなという有難うがあった。口先だけの有難うは腹が立ちますね。以前は腹が立った時、相手を捕まえて言いましたが、最近はそのままでないから大人になったんだろうと思いますが、…70 になって大人になったものないだろうけれども、ただそれが積み重なってくると、その人が来るだけで、その人の顔を見るだけで何かほっとするということがある。中村天風先生の十牛図の中で、最高の悟りの部分に入ってくると理解しています。その説明でいけば、ちょっと悪さをする連中も心を入れ替えて、みな真人間になる。

有難うございますと言われた時、言った時に、そこで穏やかなとても良い雰囲気、良い空気変わった時というのは、とても良い人間関係ができる。それが広がっていけば国もそんなに争わなくて済むんだろうという感じがします。ただ会うだけで惹きこまれる人というのは、やっぱりいるのだらうと思います。

久しぶりに中曽根康弘さん（98 歳）にお会いしましたがけれども、惹きこまれなかった。

仮にも日本の一時期の運命を引っ張っていた国の最高指導者でしたが、惹きこまれない。だからそういう氣配を感じたところにはどうも行ってみたいくなります。ただ言葉としては温もりのある有難うを言いたいし、言われたいなと今年は特に思います。これは古希で考えて感じました。皆様にお出ししている四季だよりに書いてあります。

・今年に入ってから自分なりの健康体操、ストレッチをやっている方。  
やりすぎると危ないから程々に身体を動かしましょう。

・昨晚、眠るときに明日以降のことを過去形でよくできたな。過去形にちょっと付け加えます。明日はよくできたな。明日はこれからよくなりますではなく、明日はよくできたと、過去形でイメージして眠れた方。

明日はよくできたなと思って寝た方という言い方は、普通で考えたら日本語になっていません。明日のことを過去形でイメージできた方というと、何となく明日はこれとあれをやったというイメージを持つ。だから私の言い方は、おかしいぞと思ってくれたら正解です。突き抜けると明日はよくできた。そんなのは当たり前じゃないかという話になります。明日はよくできたなと思って眠れた。たくさん手が上がってくれるのを期待しております。

この間、木内孝さんに会いました。あの人は人のことをこき使いますが、木内さんは学びたいという意欲、知りたいという意欲がものすごくある。そうすると身体に出てしまう。だから今度、奥さんを口説いた時の状況を聞いてみようかと思っています。

私にきた質問が、「東洋の哲学ならびに宗教の中で男性優位、女性下位の思想はどのように生まれ、どのように育まれ、どのように成長し現代に至ったか。今後それはどういう方向に進もうとしているか」です。

私は何となく男性のイメージは腕力だと思っていました。力の強い人。語源をいろいろ調べてみたら、そうではありませんでした。田んぼを管理する能力のあるものを男という。田んぼを効率よく管理し、食べ物をたくさん収穫できるように配慮し、周りの人たちを動かす能力のあるものを男という。女という字は、そういう人に対してひざまずいて支えているという。完全に正座ではなく、ひざまずいて助けているような状況の象形文字です。だから文字が出来たときに最初から男女の役割分担が明確に出ている。書いてある語源からみて私が思ったことは、なんだ昔から男は働かされて女の人の手で踊らされている。良い気持ちで動かされているね。そうしてみると、頭の中で日本の天照大神と中国の女禍が接近してきた。私の男性と女性に関する知識が、だいぶあちこちに広がっているから木内さんとフェイス・トゥ・フェイスでやらない限り何も生まれないとあって、お会いして話をしました。それで結論としては何にも出なかった。お互い何も分からなかった。男

性と女性というのは、すごく大きい深いテーマだと思います。ただ役割分担だけは明確に違うと思いました。

### 【論語の視点】<憲問十四>

【三二】子曰く、人の己を知らざることを患えず。其の能くせざるを患う。

昔の学者は自分を磨こうと思って勉強をする。今の学者は世の中に売りたい。売れるということを前提にして勉強している。

先ほど紹介していただいたミュージカル落語は、お祭りだから軽やかな誰でも喜んでもらえる感じの話だったと思います。自分磨きのためにする、作る落語と一般受けをするものと中身を変えている。孔子が似たようなことを話しています。一般受けするものばかりやってはいけない。自分磨きをしなさいということが「人の己を知らざることを患えず」有名にならないからって、くよくよ考えてはいけない。「其の能くせざるを患う」自分に学ぼうという意欲があまりなく、身につけたものも薄いと嘆けばよい。

【三三】子曰く、詐を逆えず。不信を億らず。抑も亦先ず覚る者は、是れ賢なるか。

「詐を逆えず。不信を億らず」騙されないかと冷や冷やせず。邪推しなさんな。「抑も亦先ず覚る者は、是れ賢なるか」何も話をしなくても、ただ顔を見ただけではとひらめく。それが賢い人だ。

【三四】微生畝 孔子に謂いて曰く、丘 何ぞ是の栖栖たることを為すか。乃ち佞を為す無からんやと。孔子曰く、敢て佞を為すに非ず。固なるを疾みてなりと。

微生畝は年配で孔子に、そんなに仕官したいとあちこちの国へ行くのは駄目だよと上から目線で言っている。「乃ち佞を為す無からんやと」お前は口先上手だからなと微生畝が言いました。孔子は「敢て佞を為すに非ず」そうおっしゃいますけど私は口先上手ではございません。「固なるを疾みてなりと」皆さん頭の中がカチカチに固まってしまい、世の中を良くしようと想うだけで具体的なことは何もしないから、私がやりかたを説いて歩いています。

周りにこういう人はいます。自分が微生畝になっていないかなと少し反省をしてみる。自分が微生畝かどうかを自問自答する話で今日は終了にいたします。有難うございました。